

口頭試験評価表 <中級>

クラス： 中級〇 名前： ○○○○

/100

トピック：

Vocabulary

- A 様々な語彙を適宜使って話せる。
- B 学習した語彙を十分に駆使して話せる。
- C 使える語彙が限られている。
- D 使える語彙が限られ、十分な会話ができない。
- E 最低限の語彙も使用できず、会話の流れに支障を来たしている。

Grammar

- A あらゆる文法を駆使でき、致命的なミスがない。
- B 既習文法内で会話ができ、ミスは少しあるが内容の理解には問題がない。
- C 使用文法が限られているが、致命的なミスはない。
- D 使用文法が限られ、ミスが多く、わかりにくい。
- E タスク達成に必要な文法も使用できず、内容もわからない。

Discourse Structure

- A 一貫性を保つつ、応用的な会話が展開できる。
- B 流れに沿った会話が展開できる。
- C 話の構成に明確さは欠けるが、会話の流れは理解できる。
- D 話の流れに不自然なところがある。
- E 話に構成がなく、全体が理解しにくい。

Pronunciation

- A 聞き手に負担をかけない程度の自然な発音ができる。
- B やや不自然さはあるが、理解できる。
- C 不自然さが多々見られるが、聞き手の確認や理解によって内容が把握できる。
- D 日本語教師なら理解できるが、不自然さが多い。
- E 不自然さが多く、聞き手に伝わらないことが多い。

Fluency

- A 全体的になめらかに話せる。
- B 全体的に滞ってはいない。
- C 会話の滞りがやや見られる。
- D 会話の滞りが多々見られる。
- E 沈黙や間が多い。

Exchange of Conversation

- A 自然な会話のやりとりができる。
- B 相手がリードしなくとも自ら会話のやりとりが適切にできる。
- C 会話のやりとりがある程度できる。
- D 会話のやりとりに支障を来たしている。
- E 会話のやりとりが不自然。

Sociolinguistic Competence

- A 相手や場面に合わせた言語使用、態度が適切にできる。
- B 相手や場面に合わせた言語使用、態度がある程度できる。
- C 相手に不快感を与えない程度に、適切な文体の使用や態度ができる。
- D 相手に不快感を与えかねない不適切な言語使用や態度が見られる。
- E 相手の存在を無視した一方的な発話が見られる。

Task Achievement

- A タスクの内容だけでなく、一貫性と結束性を保ちながら話題を展開できる。
- B 発展的な会話は見られないが、タスクの範囲内で一貫性の維持はできる。
- C 相手のリードに頼りながらもタスクを達成している。
- D 一貫性に欠けながらもなんとか達成している。
- E 簡単なやりとりによる達成、あるいは達成に至らない。